

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-2378

(43) 公開日 平成8年(1996)1月9日

(51) IntCl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 R 22/12

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-168555

(22) 出願日 平成6年(1994)6月16日

(71) 出願人 594122656

花野 ナル

東京都豊島区池袋本町2丁目25番1号

(72) 発明者 花野 ナル

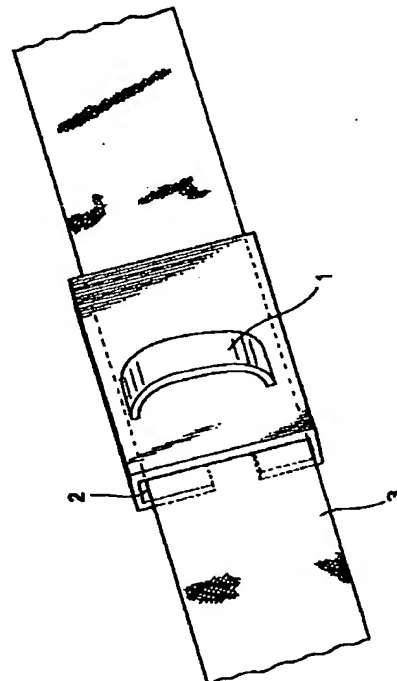
東京都豊島区池袋本町2丁目25番1号

(54) 【発明の名称】 シートベルト汚れ防止器具

(57) 【要約】

【目的】 本発明はシートベルトを汚して衣服を汚すことを防止するシートベルト汚れ防止器具を提供するものである。

【構成】 両端を内側にしL型に折り曲げたベルト通し保持部の片面に握り部を設けることを特徴とする。



1...握り部
2...ベルト通し保持部
3...シートベルト

BEST AVAILABLE COPY

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 両端を内側にL字型(2)に折り曲げたベルト通し保持部の片面に握り部(1)を設けたシートベルト汚れ防止具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明はシートベルトを着装する時の動作のシートベルト汚れ防止具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来よりシートベルトを着装する時は運転者は右ハンドルの場合は左手でシートベルトの着装金具を持ち、右手でシートベルトに手を触れて着装を補助して着装している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

イ. シートベルトを着装するのに手が汚れている場合はもちろん手垢などでシートベルトが汚れる。

ロ. 手の汚れがついたシートベルトによって衣服を汚すこともあった。

本発明は以上の欠点を解決するためのものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

イ. ベルトがスムーズに通るほどの厚みにベルト通し保持部(2)の両端をL字型に折り曲げる。

ロ. 一方の片面を半円状の親指が入る位の大きさの握り部(1)を設ける。

本発明は以上の構成よりなるシートベルト汚れ防止器具である。

【0005】

【作用】本発明を使用する時は、左手でシートベルトの着装タング(金具)を持ち、右手で握り部(1)の部分に指を入れて上下、又は前方に引く事でシートベルトの着装を補助出来る。従ってシートベルトに直接手を触れる事がないからシートベルトを汚す事はない。

【0006】

2

【実施例】以下本発明の実施例をのべる。

(ロ) ワク(2)シートベルトを包み込んだ器具。

(ハ) シートベルト(3) (1)握り部分を指で持つて上下する。

従ってシートベルトを汚す事はない。

イ. プラスチック樹脂または金属など軽量で成型しやすい素材を用いてベルトがスムーズに通るほどの厚みにベルトを通し、保持部(2)の両端をL字型に折り曲げる。

10 ロ. 一方の片面を半円状の親指が入る位の大きさの握り部(1)を設ける。

本発明は以上のような構成よりなっている。これを使用するときは、次のようにする。シートベルトを着装する時に左手でシートベルトのタング(金具)を持ち、右手でシートベルト汚れ防止具(1)の握り部に指を入れて、左右上下前方に引いて左手のタング部分に左腰部近く連結金具に連結するまで右手で握り部分を指で押さえて左右上下前方に引いて連結を補助して連結する。その際にシートベルトに手を触れないことでシートベルトの汚れを防止することが出来る。はずす時も同じ要領ではずすことが出来る。握り部(1)に手が触れるだけで直接シートベルトに手の汚れや手垢がつくことがないため、シートベルトの汚れや衣服の汚れを防止することが出来る。

【0007】

【発明の効果】この発明は図面シートベルト(3)に図で示すベルト通し保持部(2)、握り部(1)に依りシートベルト汚れ附着防止具を使用することでシートベルトを汚さないから衣服を汚すことがない。従って運転ドライバーは清潔感が保てる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

【符号の説明】

- 1 握り部
- 2 ベルト通し保持部
- 3 シートベルト

【図1】

- 1...張り部
- 2...ベルト通し保持部
- 3...シートベルト

